

標準施工仕様

■ JPMプラチナシリコン

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
(改装の場合)	浮き塗膜の除去、旧塗膜のチョーキング層、ゴミ、塵埃、油脂分などの付着物を高圧洗浄等で完全に除去してください。高圧洗浄後、下地はよく乾燥させてください。				
下塗り	JPMシントウプライマー 主材：15kg 無希釈	はけ、ウールローラー、エアレススプレー	1	3以上	80～150㎡/15kg 0.10～0.19kg/㎡
上塗り	JPMプラチナシリコン 主材：16kg 清 水：0.8～1.6L	ウールローラー、はけ 等	2	工程内 5以上	45～64㎡/16kg 0.25～0.36kg/㎡

※1. JPMプラチナシリコンは艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消しからお選び頂けます。
 ※2. 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
 ※3. 鉄部に施工する場合は、下塗りにJPM2液プラチナエポキシをご使用ください。

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量	
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。					
主材塗り	ウールローラー塗り	JPMプラチナファイラー 主材：15kg 清 水：0.7～1.2L	ウールローラー(中毛)	1	4以上	33～75㎡/15kg 0.2～0.45kg/㎡
	多孔質ローラー塗り	JPMプラチナファイラー 主材：15kg 清 水：0.5～0.8L	多孔質ローラー	1	4以上	17～30㎡/15kg 0.5～0.9kg/㎡
	吹付け	JPMプラチナファイラー 主材：15kg 清 水：0.5～0.8L	リシガン 口径：4-6mm 吹圧：0.5-0.6MPa エアレス圧送機	1	4以上	17～30㎡/15kg 0.5～0.9kg/㎡
上塗り	JPMプラチナシリコン 主材：16kg 清 水：0.8～1.6L	ウールローラー、はけ 等	2	工程内 5以上	40～53㎡/16kg 0.30～0.40kg/㎡	

※1. 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

■ JPMプラチナシリコン弾性

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
下塗り 主材塗り	防水形複層仕上塗材の下塗り、主材塗りの仕様によります。				
上塗り	JPMプラチナシリコン弾性 主材：16kg 清 水：0.8～1.6L	ウールローラー(中毛)、はけ 等	2	工程内 5以上	45～64㎡/16kg 0.25～0.36kg/㎡

※1. JPMプラチナシリコン弾性は艶有・半艶からお選び頂けます。
 ※2. 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。

■ JPMプラチナシリコン遮熱

工程	材料・調合	施工用具・条件	塗回数	間隔時間(23℃)	所要量
素地調整	ゴミ、未硬化セメント粉末、砂塵、油脂分などの付着物をワイヤーブラシ、かわすき、サンドペーパー、ウエスなどで除去し、乾燥した清浄な面とする。				
(改装の場合)	浮き塗膜の除去、旧塗膜のチョーキング層、ゴミ、塵埃、油脂分などの付着物を高圧洗浄等で完全に除去してください。高圧洗浄後、下地はよく乾燥させてください。				
下塗り	JPMシントウプライマー 主材：15kg 無希釈	はけ、ウールローラー、エアレススプレー	1	3以上	80～150㎡/15kg 0.10～0.19kg/㎡
上塗り	JPMプラチナシリコン遮熱 主材：16kg 清 水：0.8～1.6L	ウールローラー、はけ 等	2	工程内 5以上	45～64㎡/16kg 0.25～0.36kg/㎡

※1. JPMプラチナシリコン遮熱は艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消しからお選び頂けます。
 ※2. 上記の各数値は、全て標準のものです。施工方法、施工条件により各々多少の幅を生じることがあります。
 ※3. 弾性主材の上塗りとしての施工はできません。

適応下地

各種旧塗膜・各種サイディング板・ALCパネル、
 コンクリート・セメントモルタル、スレート板 等

※1 下地に適した下塗材をご使用ください。
 ※2 高耐候形塗料や光触媒の下地の場合はご相談ください。

荷 姿

JPMプラチナシリコン 16kg/ 缶, 4kg/ 缶
 JPMプラチナシリコン弾性 16kg/ 缶, 4kg/ 缶
 JPMプラチナシリコン遮熱 16kg/ 缶, 4kg/ 缶
 JPMシントウプライマー 15kg/ 缶
 JPMプラチナファイラー 15kg/ 缶



JPM プラチナシリコン
 PLATINUM SILICONE

1液水系高耐候性アクリルシリコン樹脂塗料

プラチナシリコン

1液水系高耐候性アクリルシリコン樹脂塗料



日本塗装名人社

販売元

JPM 株式会社
日本塗装名人社
 KUNIN PAINT MASTERS
 〒463-0098 愛知県名古屋守山区川北町315
 TEL: 0120-41-1152 (良い イイ工事)
 FAX: 052-768-4116
 ■ホームページアドレス <https://corp.jpaintm.com>



製造元

菊水化学工業株式会社
 〒460-0003
 本社 名古屋市中区錦2丁目19番25号 日本生命広小路ビル
 TEL: 052-300-2222(代) FAX: 052-300-1234
 ■ホームページアドレス <https://www.kikusui-chem.co.jp/>



JAPAN PAINT MASTERS

1 液水系高耐候性アクリルシリコン樹脂塗料

JPMプラチナシリコン PLATINUM SILICONE

+a 弾性 **+a** 遮熱

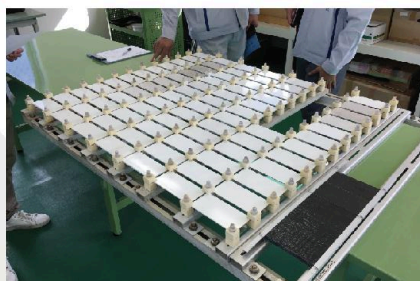
高耐候、低汚染、 防藻・防カビ効果を兼ね備えた ラジカル制御形アクリルシリコン塗料

日本で一番紫外線が強い宮古島の暴露試験に於いて、優秀な結果を出す「JPMプラチナシリコン」。論より証拠の客観的な実験結果により製造した塗料です。

酸化チタン表面処理技術と最高級の高耐久性光安定化剤(HALS)を配合した1液水性アクリルシリコン塗料です。

従来のアクリルシリコン塗料に比べ、シリコン濃度を大幅にアップした結果、緻密で強靱な塗膜を形成し紫外線に負けない耐候性と耐久性を大幅に向上しました。

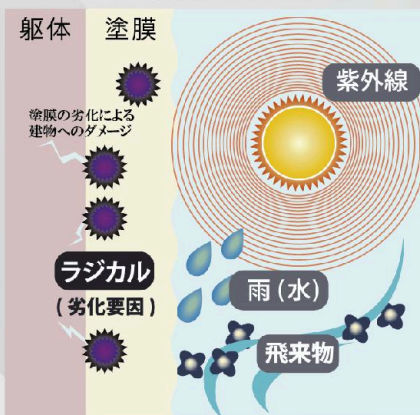
また遮熱性能に優れた遮熱タイプや防水型複層塗材にも対応可能な弾性タイプもございますので様々な用途で活躍する塗料です。



宮古島暴露試験場にて



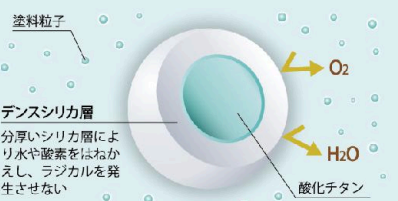
塗膜の劣化要因が生じるしくみ



ラジカル抑制により 耐候性アップ。

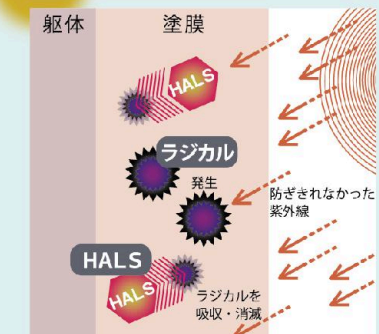
「JPMプラチナシリコン」は、皆さまの快適な住環境の確保と、建物の美観を長期維持させるため、最高級の高耐久性光安定化剤(HALS)を配合し、これまでにない耐久性を実現いたしました。

Point 1【デンスシリカ処理】



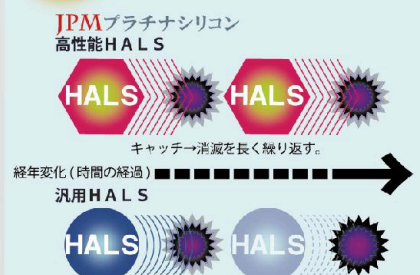
従来とは異なる独自の酸化チタン表面処理技術によりラジカルの発生を抑え耐候性を向上させます。

Point 2【キャッチする】



防ぎきれなかった紫外線により出来てしまったラジカル(劣化要因)をHALS(光安定剤)が吸収・消滅。

Point 3【長期間維持する】



JPMプラチナシリコンで使用している高性能HALSは、従来の汎用HALSに比べ経年での消失が少ないため、ラジカルのキャッチ・消滅を長期間維持することができます。

期待耐用年数[※] 12～16年。塗替えサイクルを伸ばす事が可能に!

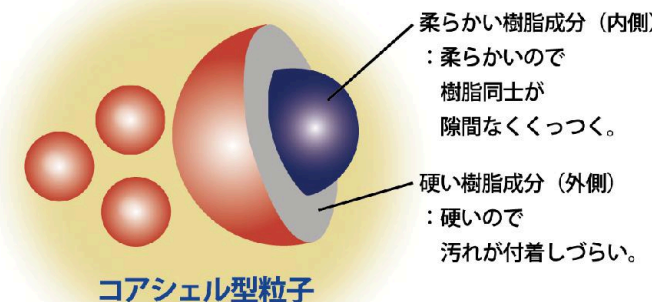
(立地条件により異なります。)

■JPMプラチナシリコンの特長

- 高耐候性 高耐候性を有した強靱な塗膜により長期間にわたり建物を保護します。
- 低汚染性 親水性塗膜なので汚れが付着しても雨水で徐々に流され、高レベルの低汚染性を発揮します。
- 防藻・防カビ効果 住む人の健康にも影響する可能性がある藻やカビの発生を抑え、安心で快適な空間を維持します。
- 選べる艶感 艶有・7分艶・半艶・3分艶・艶消し
- 透湿性 透湿性を有しています。

■コアシェル構造が効果を発揮

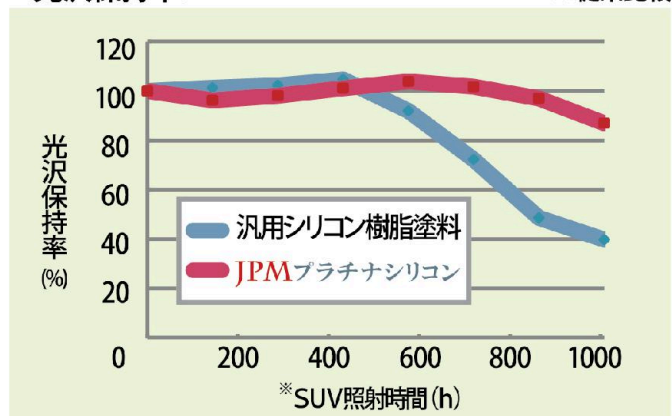
柔らかい樹脂成分と硬い樹脂成分の特長を良いとこどりした樹脂構造。



コアシェル型粒子

■シリコン濃度が4倍アップ

<光沢保持率> ※従来比較

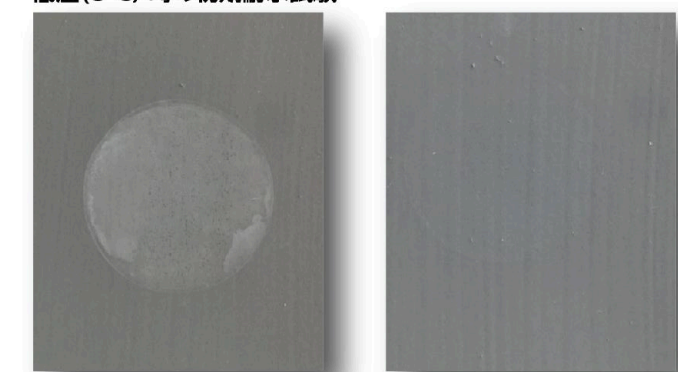


シリコン濃度を大幅にアップ。より緻密で強靱な塗膜を形成し、紫外線に負けない耐候性を発揮するとともに、汚れの付着を防ぎます。
※SUV「スーパーUVテスター(超促進耐候性試験機)」

■初期耐水性アップ

一般的な汎用塗料とJPMプラチナシリコンを、気温5℃下で塗装し、5時間静置後、水をスポット状に垂らしその状態で24時間静置し表面状態を比較しました。JPMプラチナシリコンは白化がなく、異常が無いことがわかります。

低温(5℃)時の初期耐水試験



汎用塗料

JPMプラチナシリコン

※期待耐用年数とは、塗替え時期の目安であり、塗膜の耐久性を保証する年数ではありません。塗膜の耐久性劣化は、主に気象因子と建物の構造による影響で低下します。初期段階では、塗膜表面劣化として、光沢低下・変色・白華化(チョーキング)・トップコートのひび割れ・剥がれ・膨れなどが確認されます。中期段階では、塗膜劣化として、ひび割れ・剥がれ・膨れ・下地からの浮きなどが確認されます。末期段階になると、下地を含む塗膜全体で、ひび割れ・剥がれ・浮き・白華などが確認されます。この塗膜の劣化段階より、初期・中期段階を塗替え時期の目安として年数区分しています。

+a プラチナシリコン 弾性
防水形複層塗材の上塗りOK

JPMプラチナシリコン弾性は、弾性を強化し、防水形複層仕上の上塗りに対応できます。

+a プラチナシリコン 遮熱
遮熱効果

遮熱性に優れた塗料です。太陽光のうち、約50%の熱エネルギーを占める赤外線を効率的に反射することによって、建物の表面温度上昇を抑え、室内の温度上昇を和らげます。また、高耐候性を有するチタン系黒色遮熱顔料を使用しているため、変色を大幅に軽減します。

	耐候性	低汚染性	弾性	遮熱性能	艶
JPMプラチナシリコン	◎	◎	○(微弾性)	—	艶有・7分艶・半艶 3分艶・艶消し
JPMプラチナシリコン弾性	○	○	◎	—	艶有・半艶
JPMプラチナシリコン遮熱	◎	◎	○(微弾性)	◎	艶有・7分艶・半艶 3分艶・艶消し